

岩手県支部 委員会・研究会 活動報告

活動名	令和5年度河川研究会報告現場研修 (CPD 番号 5- 8)
主催	公益社団法人日本技術士会東北本部岩手県支部河川研究会報告
日時	令和5年10月27日(金) 10:30 ~ 15:30
場所	(1) 岩泉町 (2) 久慈市
参加人数等	会員: 13人 説明: 岩手県岩泉土木センター職員、同県北広域振興局土木部職員

活動内容

1 事業概要 (1) 小本川流木捕捉工: 目的) H28.8台風第10号再度浸水被害軽減。上流からの流木を捕捉し、下流まち中心部を水害から守る。事業) 河川災害復旧助成事業、事業費) 約7.8億円、事業期間) H29-R4 諸元) 計画捕捉流木量1500m³、流入口長91.6m、開口幅80m (2) 小本川+清水川河川改修: 目的) H28.8台風第10号再度浸水被害軽減、事業) 河川激甚災害対策特別緊急事業、事業費約208.5億円、事業期間) H28-R6、諸元) 事業区間24.1km、河道掘削、築堤等 (3) 安家川河川改修: 目的) H28.8台風第10号再度浸水被害軽減、事業) 河川等災害関連事業(上流) 河川災害復旧等関連緊急事業(下流)、事業費約67.3億円、事業期間) H28-R5、諸元) 事業区間2.7km、河道拡幅、河床掘削、築堤 (4) 沢川浸水対策: 目的) H28台風第10号、R1台風第19号浸水被害軽減、事業) 総合流域防災事業、事業費) 約6億円、事業期間) R3-R5、諸元) 強制排水ポンプゲート2台 (5) 小屋畑川治水対策: 目的) R1台風第19号再度浸水被害軽減。事業) 浸水対策重点地域緊急事業、事業費) 約70億円、事業期間) R3-R8、諸元) 事業区間約1.24km、河道付替、橋梁5橋、河道掘削

2 現場研修 主な質疑応答を掲載。

- (1) 小本川流木対策) ①設置位置根拠→維持管理、周りに民家無い、遠心力による流れ込み易さ②流木量根拠→当該地点より上流の計画高水位 HWL 流下断面内の立木量より算定
- (2) 小本川+清水川治水対策) ①泉橋の桁下高さは?→現在橋梁とほぼ同じ高さ ②清水川河川改修を進める際の仮設架台の径間長の考え方は?→径間長は当初 2.5m を流木対策、通年施工を勘案し 5m に変更。

【写真】 (1) ①流木捕捉工現場: 岩泉町

(2) 清水川治水対策: 岩泉町



- (3) 安家川河川改修) ①水制工の材料は? 流されないのか?→材料は現地発生の石を組合せたもの。掃流力を勘案し石材を選定し組合せている。
- (4) 沢川内水対策) ①ポンプは自動で運転されるのか?→久慈川と沢川の水位を考慮し自動で運転。②ポンプ設置したことにより、過去の内水浸水被害はどの程度軽減されるのか?→H28 台風第 10 号豪雨規模に対し家屋浸水を軽減可、R1 台風第 19 号豪雨規模に対し床上浸水を軽減可。
- (5) 小屋畑川治水対策) ①付替えした後の旧川処理は?→残流域の排水必要であるため残す。②付替え河道の残土処理の用途は?→約 10 万 m³ あり処理先は今後検討。

【写真】 (3) 安家川治水対策: 岩泉町

(4) 沢川内水対策: 久慈市

